

全養協「第31回児童文化奨励絵画展」実施要綱

1. 趣 旨

本絵画展は、児童養護施設の子どもたちの豊かな成長をねがい、子どもたちが絵画をとおして、日々の生活をいきいきととらえ表現し、創造的な文化活動を奨励する一環として実施するものです。

本絵画展は、国際児童年（1979（昭和54）年）にチャリティ洋画展を開催された、故大野長一先生のご寄付により設置され、さらに中澤文子氏（元全国児童養護施設協議会会長・故中澤英三氏夫人）からのご寄付を得て全養協が設置・運営している「児童文化奨励基金」によって実施しています。

※ 大野長一氏（1908～1996） 教育者、洋画家、高知県生まれ。小学校教諭、高知県立教護院長等を経て、高知県の児童養護施設・愛童園園長。児童・生徒とともに洋画、日本画を描く。点描画法により、温かな世界を描出した。

※ 中澤英三氏 群馬県・子持山学園元施設長、元全国児童養護施設協議会会長（1979～1980）。

2. 名 称 第31回児童文化奨励絵画展

3. 主 催 社会福祉法人 全国社会福祉協議会 全国児童養護施設協議会

4. 募集作品 絵画に限ります

5. 応募資格 児童養護施設入所児童

6. 応募の方法

(1) 絵の種類

水彩、油絵、クレヨン、デッサンの別は問いません。

(2) 画用紙の大きさ

四つ切り（38 cm×54 cm）

(3) 画 題

画題は自由ですが、必ず画題を付けてください。

※提出する絵画に、別添の応募票を記入の上、絵画の裏にメンディングテープで貼付してください。

(4) 明記事項

画題、施設名、学年、都道府県名、氏名

※児童の氏名等の公表を希望しない場合、応募票の該当部分にその旨ご記入ください。

裏面に続きます

(5) 送付先・締め切り

平成 23 年 9 月 7 日（水）までに、各都道府県・指定都市児童養護施設協議会事務局まで送付ください。

(6) その他

応募作品は大会終了後、返却いたします。

7. 審査方法

(1) 予備審査

①各都道府県・指定都市段階で予備審査を行い、幼児 1 点、小学生 2 点、中・高校生 2 点の合計 5 点を選び（大会開催地は 5 点を加える）全養協事務局まで送付ください。

②都道府県・指定都市による予備審査後、**平成 23 年 9 月 28 日（水）までに下記宛に送付ください（締切厳守）**

③絵画の損傷や紛失を避けるために、必ず全国児童養護施設協議会所定のケースに入れて送付ください。

<p><送付先> 全社協・児童福祉部 全国児童養護施設協議会事務局 〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル TEL 03-3581-6503</p>
--

(2) 最終審査

児童文化奨励絵画展審査委員会が行います。

8. 審査結果の発表・絵画の展示

平成 23 年 11 月 9 日（水）～11 日（金）に開催される「第 65 回全国児童養護施設長研究協議会」（埼玉県）において発表、展示します（展示場所については会場のロビー等を使用予定）。

9. 賞

(1) 最終審査に寄せられた作品は、すべて入選となります。

(2) 入選作品の中から、金・銀・銅賞を選考し、賞品を授与します。

10. 個人情報の取扱いについて

ご提出いただく個人情報は、児童文化奨励絵画展にかかわる下記目的の範囲内で使用します。

(1) 絵画の審査、発表・展示

(2) 第 65 回全国児童養護施設長研究協議会資料への名簿掲載

「画題、施設名、学年、都道府県名、氏名」

（ただし、児童氏名については施設長に別途公表の可否を伺います）

(3) 絵画の展示・送付他の事務関連事項

絵画応募票

本紙を絵画の裏面にセロテープ・メンディングテープで貼り付けてください

画 題			
氏 名	ふりがな		
学 年			
県 名		施 設 名	

重要事項

展示会場における児童の氏名等の紹介について

(いずれかに○をつけてください)

- そのまま表記してよい(上記の応募票の内容をそのまま紹介してよい)
- そのまま表記してはいけない(下記の表記にする) 例: Y・T 等

氏名の紹介方法等の指定 (イニシャルなど)

ご確認のため、署名をお願いします

施設長確認・署名欄

印

《留意点》

- ※ 応募の際はこの用紙に記入の上、絵画の裏面にセロテープ、メンディングテープ等で貼り付けてください。
- ※ 本用紙が足りない場合はコピーをしてご利用ください。
- ※ 展示当日は、この様式に記載された事項にもとづき、別途、紹介用の名札を作成する予定です。